

- 内容 「発見キラリ人！軽スポーツを通じて地域の方と交流しよう」
- ねらい 軽スポーツを通して聴覚障がいの方のキラリと光る良さや、自分とのちがいに気づき、自分がこれからできることは何かを考える。
- 活動計画

学習活動及び学習内容	授業者の働きかけ	児童の意識の流れ
1 本時の学習のねらいを知る。 ○本時の活動内容(軽スポーツ)を知り、地域の方との交流会に意欲をもたせる。	○自己紹介を通して、手話やそれを通訳されている方に気づき、コミュニケーションの取り方を考えるきっかけを作る。	・耳の不自由な方とどのように会話すればいいのかな？ ・一緒に遊びができるかな？ ・ルールが伝えられるかな？
軽スポーツを通して、地域の方のすごいところを見つけよう。		
2 軽スポーツの説明やルールを聞く。 ※スポーツ指導員の説明を手話通訳により伝える。	○チームを色分けし、グループの一体感を持たせ、所属意識を高める。 ○勝敗の喜びや悔しさを共感できるように、ジェスチャーや手話を事前に教えてもらう。	・手話でルールを理解するってすごいな。 ・分かりやすいジェスチャーで、これなら自分もできるな。 ・私のすごいところも見てほしいな。
3 軽スポーツを通してお互いの良さを発見する。 チームを作り、時間を区切って3つの競技すべてを体験する。 ○軽スポーツ ・輪投げ ・オーバルボール ・ラダーゲッター	○3つの軽スポーツが時間内にできるように、グループを編成する。 ○コミュニケーションを多く取ることが勝つことへ繋がると伝え、自分たちから話しかけるよう促す。 ○良いコミュニケーションの取り方をしているグループを紹介し、真似をさせる。 ○熱中症対策のため、休憩はこまめに取りながら行う。	・耳が不自由だけど、私と比べて軽スポーツがとても上手だな。 ・投げ方を真似てみよう。 ・「頑張って」と伝えたいな。 ・ジェスチャーを使ってたくさんお話できるな、楽しいな。 ・簡単な手話でたくさん気持ちが伝えられるんだな。 ・軽スポーツってだれでも楽しくできるな。 ・手話で自己紹介したいな。 ・一緒に交流できて楽しかった。
4 質問に答えていただく。	○たくさん質問できるように、事前に質問内容を考えて用意しておく。	・道路などで困った人を見たら、どのように声をかければよいですか？
5 お礼の言葉を伝える。		・手話ができなくても思いが伝わったことがうれしかった。 ・楽しい時間をありがとう。

○ グループ編成（児童数 28 名を 6 班に分ける）

- ・ 5名×4班 + 4名×2班 = 28名 （6班のグループ）
- ・ 各グループに、聴覚障がいの方に 1名から2名入っていただく。
- ・ 手話通訳の方には全体を見回っていただき、児童と聴覚障がいの方との会話のサポートをしてもらう。

○ 軽スポーツの内容（3種目）

- A 輪投げ                                      B オーバルボール                                      C ラダーゲッター

○ 活動の細かな流れ（2時間）

	主な活動	活動の流れ	活動場所
1	GT の紹介と活動の流れの説明	○あいさつと自己紹介 （5分） ○活動の流れ （10分）	体育館
2	3つの軽スポーツに分かれて活動	○それぞれの活動 1つ目の軽スポーツ （20分）  (休憩) (10分) 2つ目の軽スポーツ （20分） 3つ目の軽スポーツ （20分）	・ 輪投げ （体育館ステージ） ・ オーバルボール （体育館前方） ・ ラダーゲッター （体育館後方）
3	質問や感想	○質問や感想 （10分）	体育館
4	お礼のことば	○あいさつ （5分）	体育館

○ 外部講師・協力者

- ・ 元スポーツ推進員（軽スポーツ指導）
- ・ 都城手話サークル※（手話通訳）※活動日以降に「NPO 法人手話ランゲージ」として法人格取得
- ・ 聴覚障がい者（都城手話サークルのサロン参加者）
- ・ 社会福祉法人都城市社会福祉協議会・都城市ボランティアセンター（全体協力）